

2025 IECEEx

Annual Meetings

KYOTO

JAPAN





2025IECEX日本年会説明会 (9月4日 東京会場)

時間割

13:00 開場・受付開始

13:30-14:45 TIISの紹介と2025IECEX日本年会の説明

14:45-15:00 休憩

15:00-15:30 質疑応答

- 発表内容の写真・音声・動画撮影を禁止します。
- 会場では携帯電話はマナーモードにし、通話をご遠慮ください。



2025IECEX日本年会説明会 (9月6日 Webinar)

時間割

13:30 入室開始

14:00-15:15 TIISの紹介と2025IECEX日本年会の説明

15:15-15:30 休憩

15:30-16:00 質疑応答

- 発表内容の写真・音声・動画撮影を禁止します。

目次

- TIISの紹介（歴史・業務）
- スポンサーの募集
- 経緯と今後の予定
- お問い合わせ先
- 新旧会場の比較
- 年代別開催国
- 日本開催の意義
- IECEXシステムの概要
- 2025IECEX日本年会開催方針
- 2025IECEX日本年会の概要
- シンポジウムについて
- スケジュール
- 会場の紹介

歴史サマリ

- 1965年 設立
- 1971年 防爆検定開始
- 2003年 清瀬市から狭山市へ移転
- 2004年 登録検定機関として登録
- 2005年 日本がIECEXに加盟
- 2011年 公益社団法人認定
- 2014年 試験機関(ExTL)・認証機関(ExCB)として認められる
- 2021年 ISO/IEC 17025認定
- 2022年 ISO/IEC 17065認定
- 2024年 防爆分室を新大阪へ開設

- 検定業務
 - 新規申請
 - 更新申請
 - 全13品目の検定
- IECExシステムの機器認証
- 技術支援
 - 国内検定・海外認証サポート
- 性能評価試験
 - 化学物質の危険性評価
 - 墜落制止用器具、マスク、静電気用品の性能試験
- セミナー開催ほか

経緯と今後の予定

経緯

2014年	オランダ(Hauge)IECEEx年会にてTIISがホストとなり2021年に日本でIECEEx年会を開催することが了承された。		
2016年	5年間の資金積立開始		
2019年	開催候補地としてパシフィコ横浜を選定 開催日程：2021/8/30-2021/9/3	←	コロナパンデミック始まる(2019/12～)
2020年	資金積立完了（積立総額：1,500万円）		
	2021年のIECEEx開催を延期		
	IECEEx事務局と調整して開催年を2025年に決定		
2021年3月	令和4年(2022)度の事業計画において年会開催経費の節減を念頭に計画の見直しを図ることとなった。		
2022年	新たな開催候補地を京都に選定（パシフィコ横浜キャンセル）		
2023年	京都国際会館に開催会場に決定	←	コロナ第5類感染症に移行(2023/5～)

経緯と今後の予定

今後の予定

2024年9月	外部説明会の開催、スポンサー募集開始		
2024年9月	ブラジルでのIECEX年会にて2025年の年会開催をプレゼン		
2025年4月	スポンサー決定		
2025年6月	年会参加登録開始（会議関係者）←IECEXホームページ掲載開始		
2025年9月	京都にてIECEX年会開催		

新旧会場の比較

訪日外国人から見たロケーション

	横浜	京都
宿泊先の多さ	◎	◎
観光スポット	△	◎（観光ツアーが不要）
空港からのアクセス	○	○
日本らしさ	△	◎
MCディナーにおけるアトラクション	△	◎（伝統芸能が豊富）

施設

	パシフィコ横浜	京都国際会館
会場費	高	中
国際会議の会場	○（イベントなど多目的）	◎（会議がメイン）
同時通訳ブース	無	有
飲食店	○（徒歩圏内に多くあり）	△（ホテル以外になし）

年代別開催国

2000	ドイツ (ブラウンシュヴァイク)	2013	ブラジル (フォルタレザ)
2001	スイス (ベルン)	2014	オランダ (ハーグ)
2002	韓国 (ソウル)	2015	ニュージーランド (クライストチャーチ)
2003	ハンガリー (ブタペスト)	2016	南アフリカ (ウムハンガ)
2004	スロベニア (ブルド)	2017	USA (ワシントンD.C.)
2005	UK (バクストン)	2018	フランス (カンヌ)
2006	中国 (上海)	2019	UAE (ドバイ)
2007	USA (デンバー)	2020	リモート (カナダ中止)
2008	フランス (パリ)	2021	リモート (日本延期)
2009	オーストラリア (メルボルン)	2022	リモート (スコットランド延期)
2010	ドイツ (ベルリン)	2023	スコットランド (エディンバラ)
2011	クロアチア (スプリット)	2024	ブラジル (イグアスの滝)
2012	カナダ (カルガリー)	2025	日本 (京都)

日本開催の意義

• 何故日本で開催するのか

- ▶ IECEXの年会は、IECEXシステム加盟各国の持ち回りとなっており、日本の防爆の歴史の長さからしても、日本での年会開催は以前から期待されていたので、日本開催を実現することにより、その役割を果たすことができます。

• 何故TIISがホストとなったのか

- ▶ 各国に1つメンバーボディ（日本ではJISC）及び国内審議委員会（日本ではTIIS）が置かれていますが、日本の場合、メンバーボディについては、ホストになる意向がなかったこと、また、国内審議委員会については、予算が確保できないため、日本で唯一のExCB & ExTLであるTIISが名乗りを上げました。

• 日本にとってメリットは何か

- ▶ 特に実益としてのメリットがどの程度あるか不明ですが、IECEX加盟国の中で日本の知名度が上がり、日本のメーカーなどの関係者が防爆の国際ビジネスを行う際に有利になることが期待できる（少なくとも不利になることはないでしょう）。

• 期待されることは

- ▶ 日本の各種利害関係者に参加していただくことによりIECEXの理解を深めてもらい、また、海外からの参加者（各国の行政、試験認証機関、メーカ、ディストリビューター、コンサル機関、研究機関、他）に日本の防爆業界を知ってもらう良い機会になることを期待されます。

IECExシステムの概要

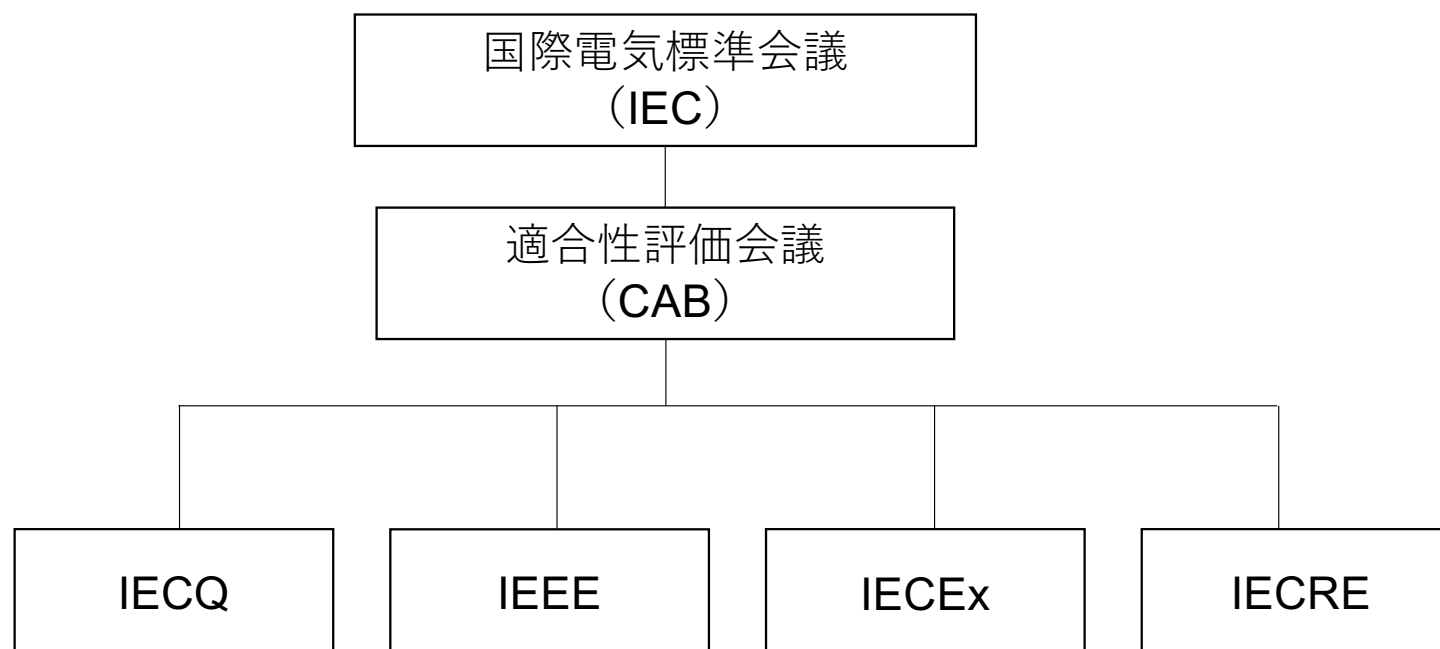
- IEC適合認証制度における4つのシステム
 - 電子部品品質認証制度(IECQ)
 - 電気機器・部品適合性試験認証制度(IECEE)
 - 防爆機器規格適合性認証制度(IECEX)
 - 再生可能エネルギー機器規格試験認証制度(IECRE)
- IECEXは、国際的な防爆の認証制度を提供する枠組みとしてIECによって提供されているものである。

IECEx加盟国

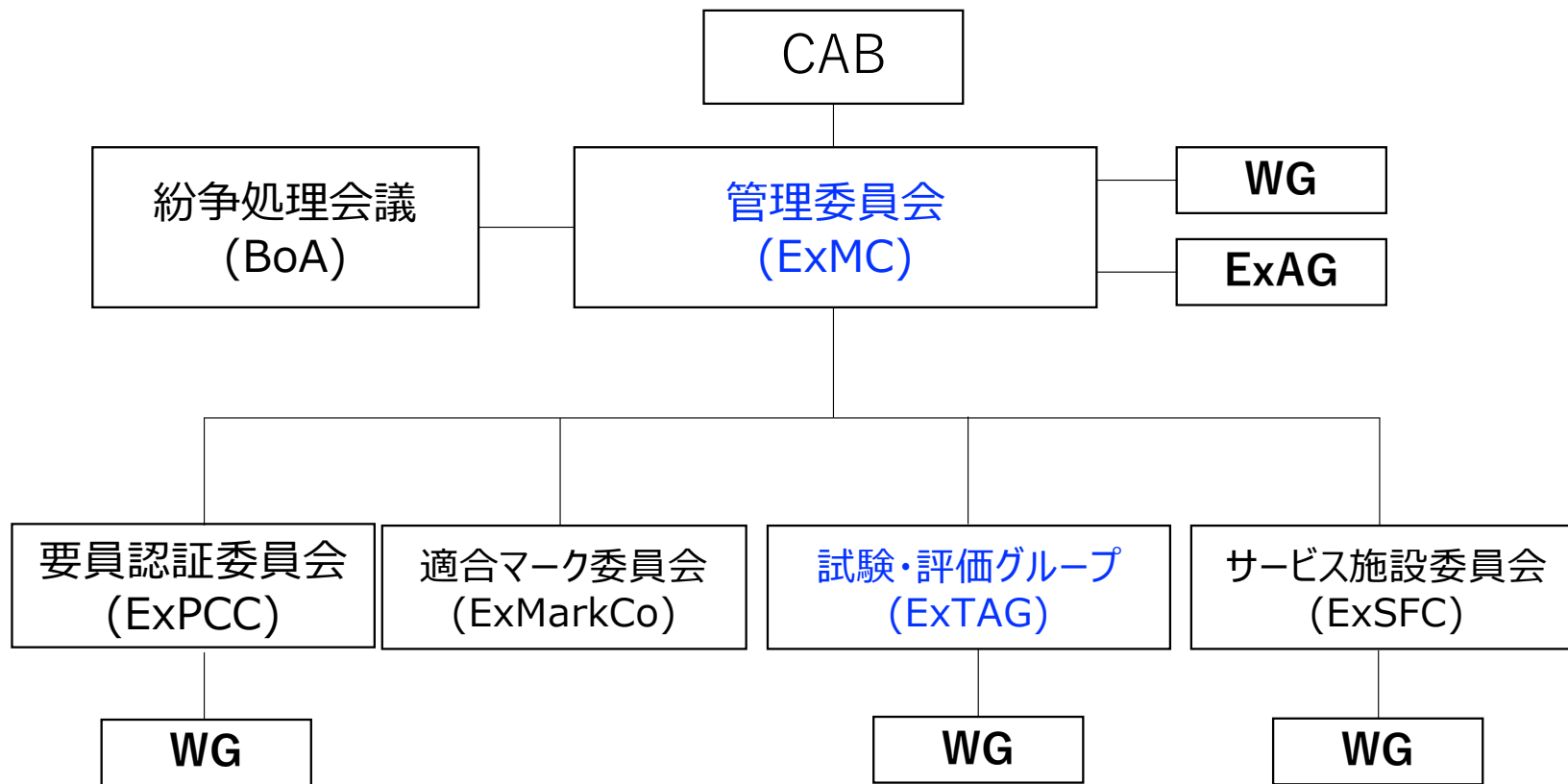
- 2024年1月時点、合計36カ国がIECExの加盟国となっている（順不同）。

オーストラリア	デンマーク	ハンガリー	日本	ノルウェー	ロシア	スウェーデン	アメリカ
ブラジル	フィンランド	インド	サウジアラビア	中国	シンガポール	スイス	
カナダ	フランス	イラン	マレーシア	ポーランド	スロベニア	トルコ	
クロアチア	ドイツ	イスラエル	オランダ	韓国	南アフリカ	アラブ首長国連邦	
チェコ	ギリシャ	イタリア	ニュージーランド	ルーマニア	スペイン	イギリス	

IECと各システムの運営体制

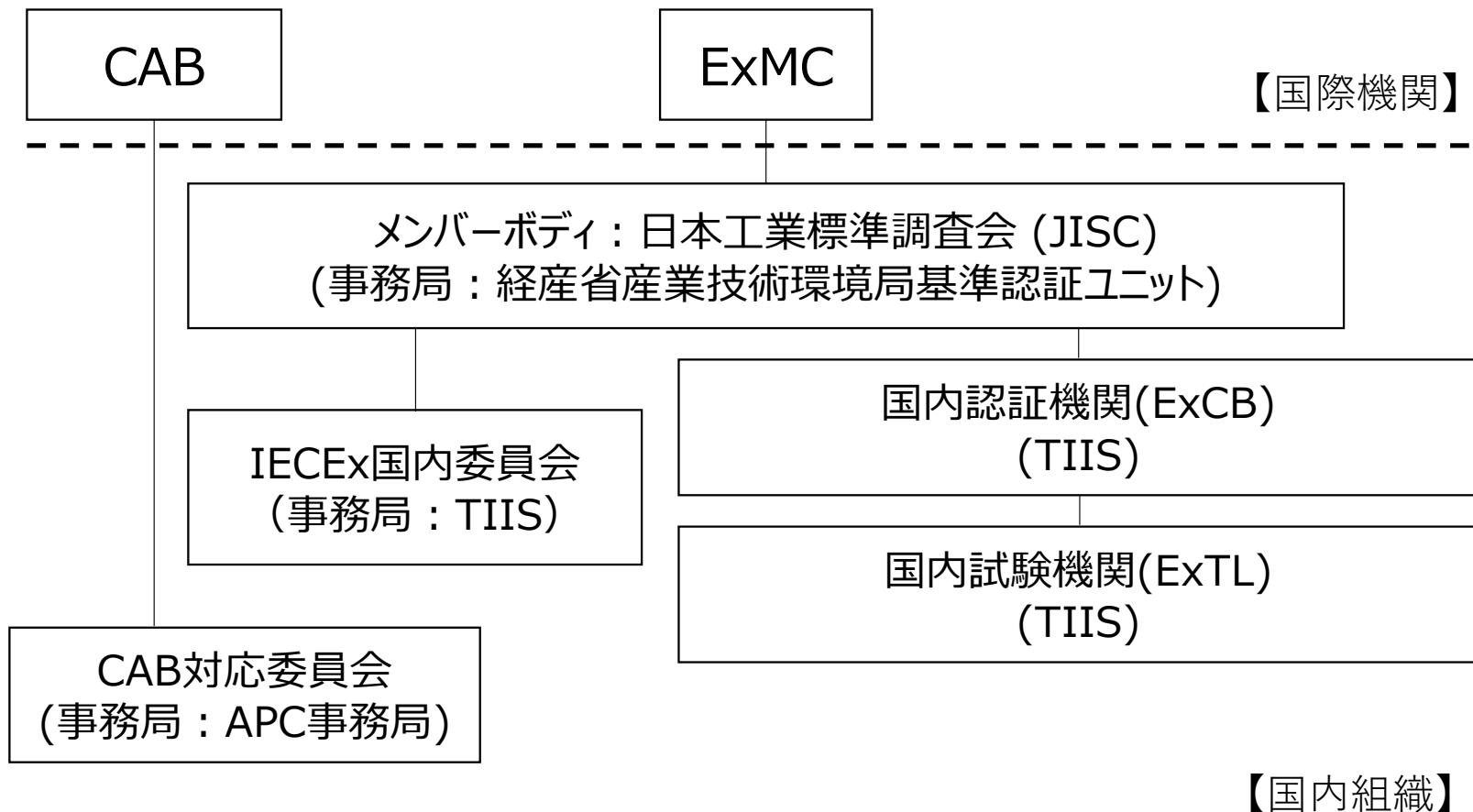


【国際機関】



IECEXの運営体制

【国際機関】



IECEXの運営体制

IECEX年会に関するルール

- 統一基本規則の IECEX 補足 IEC CA 01
7.3 ExMCの会議は、少なくとも年1回開催する。
- IECEX 機器認証スキーム – 基本則 IECEX 02
4.2.4 ExTAGは、少なくとも年1回、できれば毎年異なる国において、ExCB又はExTLが所在する場所で会議を開催する。
- 飲食イベント
ホストは、TAGレセプションとMCディナーを開催する。
- シンポジウム(Industrial Symposium)
ホストは、ExTAGとExMCの会議の中日（水曜日）にシンポジウムを開催することができる。テーマは、マーケットの要望に応じて、ホストが決める。
- 費用
年会の会議費用（会場費、茶・菓子）と飲食イベントは、ホストが負担する。

ExTAG(Ex testing and assessment group)

- IECEx システムの下での審査及び試験に関する実施上の問題を取り扱う機関である。
- すべてのExCBとExTLは、ExTAGのメンバーでなければならない。

ExMC(Ex management committee)

- IECEx システムの運営を管理する機関。IECExシステムに関するルール、ExCB・ExTLの承認は、各国のメンバーボディの投票によって決議される。特に重要な変更は、年会で決議される。

- ◆ IECEX事務局と連携し、IECEX年会を着実に実行する。
- ◆ 海外からの参加者に日本の防爆業界をより知ってもらう。
- ◆ 日本からの参加者にIECEXシステムに対する理解を深めてもらう。
- ◆ 日本の防爆関係者が機種など特定の枠にとらわれず情報交換できる場を提供する。
- ◆ 国際的な交流を通じて関連ビジネスに生かしてもらう。
- ◆ 他国の開催例を参考にしつつ、予算内での開催を目指す。

2025IECEx日本年会の概要

- 開催日：2025年9月15日(月)～9月19日(金) (5日間)
- 開催会場：公益財団法人 京都国際会館
Kyoto International Conference Center (ICC Kyoto)
〒606-0001 京都市左京区岩倉大鷲町442番地
<https://www.icckyoto.or.jp/>
- 積立金：1,500万円
- 助成金：30万円 (京都府)
- 主催者：公益社団法人 産業安全技術協会
- 推奨宿泊先：ザ・プリンス京都宝ヶ池
〒606-8505 京都府京都市左京区宝ヶ池
<https://www.princehotels.co.jp/kyoto/>

シンポジウム(Industrial Symposium)について

- 開催日時：2025年9月17日(水) 9:00~12:30
- 開催会場：公益財団法人 京都国際会館
- 参加費：未定
- 参加申し込み方法：TIISホームページにて（予定）
- 講演内容：IECEX及び国内防爆に関して内外関係者が関心のあるトピックを選定します。
現時点で想定するものを例示します。
 - IECEXシステムの最新の動向
 - 水素関連
 - IECEX認証と国内検定
 - IECEX認証から国内検定へのコンバート
 - IECEX認証から海外認証へのコンバート、etc.
- その他
同時通訳あり

スケジュール

	9/15(月)	9/16(火)	9/17(水)	9/18(木)	9/19(金)
9:00-12:00	Assessor Training Session (Room B1)	ExTAG Meeting (Room B1)	Industrial Symposium (Room B1)	ExMC Meeting (Room B1)	ExMC Meeting (Room B1)
	Lunch Break				
13:00-17:00	IECEX CoPC ExPCC	ExTAG Meeting (Room B1)	ExSFC	ExMC Meeting (Room B1)	ExMC Meeting (Room B1)
18:00/19:00-21:00		TAG Reception (Gold Room/The Prince Kyoto Takaragaike)		ExMC Dinner (Sakura)	

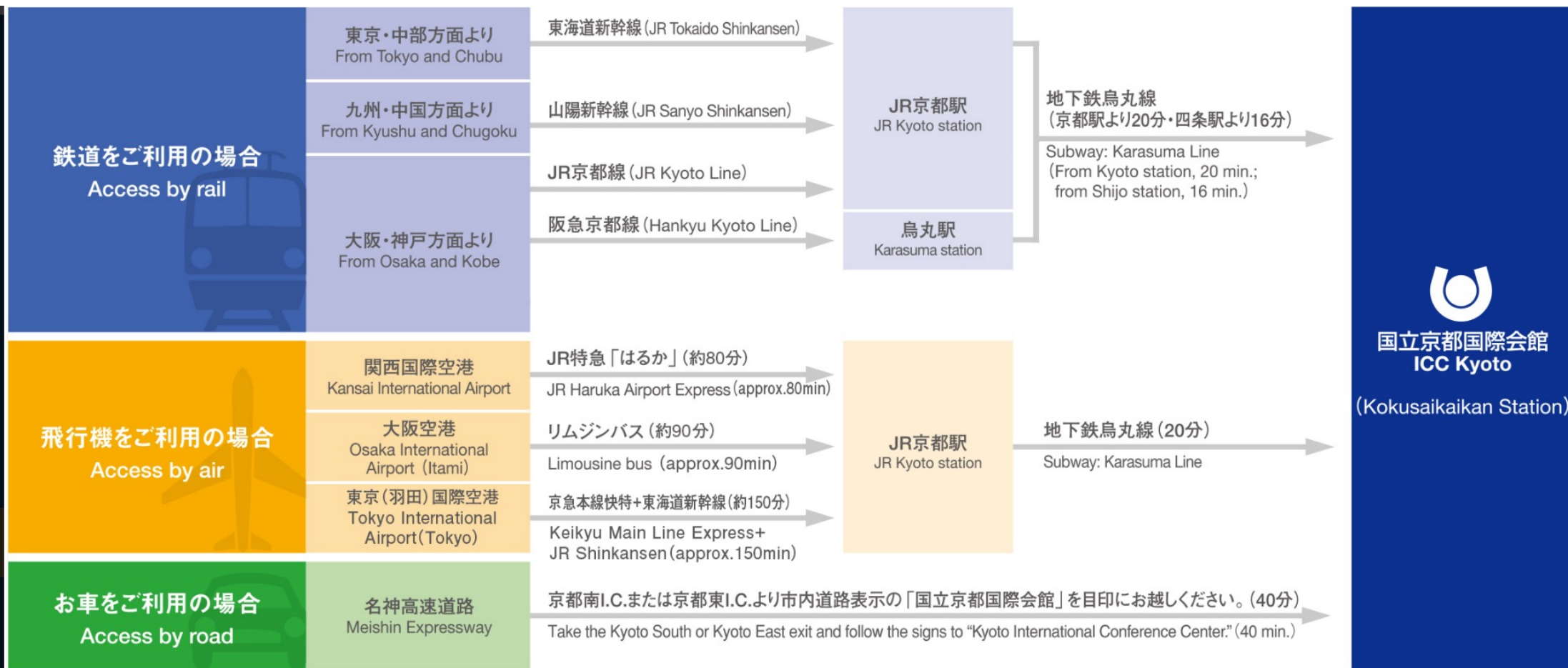
周辺地図





京都国際会館

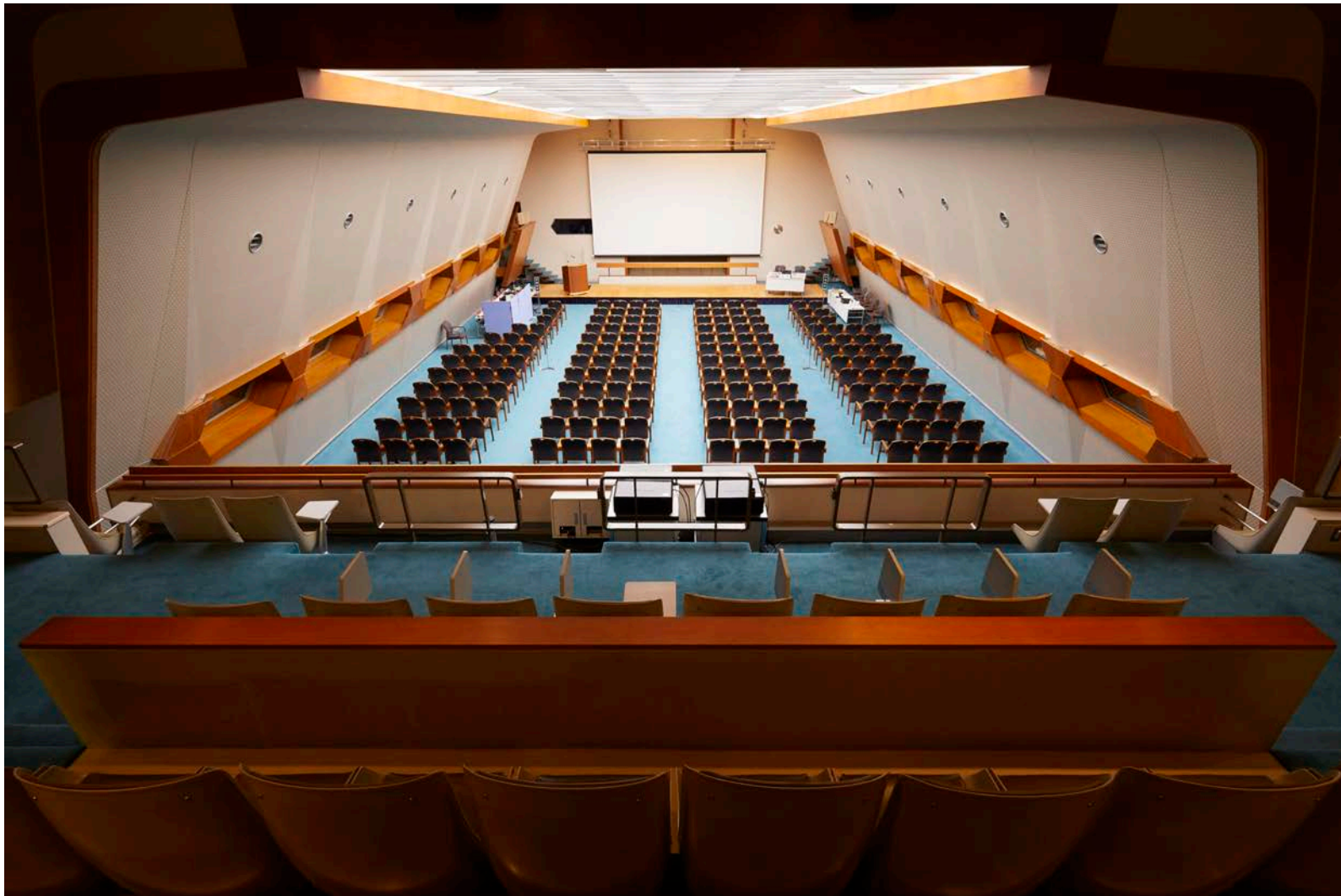
会場までのアクセス



Room B1



Room B1



Sakura



概要予算

分類	内容	備考	概算予算 (税込)
会場	会場、機材・機器	5日間 (メイン会場、サブ会場、事務局)	640万円
シンポジウム	同時通訳、講師	100名 (水曜の午前)	50万円
TAGレセプション	ケータリング(飲み物、軽食)	130名 (火曜の夜)	120万円
MCディナー	ケータリング(ブッフェ、飲み物)、アトラクション	150名 (木曜の夜)	350万円
ティーブレイク	コーヒー&お茶、水、菓子	5日間、150名 (午前1回、午後1回)	200万円
ランチ	ケータリング (食事、飲み物)	5日間、150名	300万円
記念品	ウェルカムキット、ノベルティ、ネームタグ、ネームプレート	200名分	80万円
イベント	写真撮影、関係者会食		70万円
人件費			130万円
その他	予備日		100万円
総計			2,040万円

- スポンサー募集の必要性

- ▶ 公益社団法人として支出が制限されるなか、過去の開催例を参考にしつつ、一定程度の水準を維持するため。

- スポンサーのメリット

- ▶ スポンサー企業様には、日本年会というまたとない機会に内外防爆関係者に広報の機会が提供される。
- ▶ IECEX年会への参加を通じてIECEXシステム、各国の代表、ExCB、ExTL、海外メーカー及びディストリビューターなどの関係者と交流する機会が提供される。
- ▶ 希望により、シンポジウムのテーマ選定に関わることが可能。
- ▶ 希望により、会議外のイベント（シンポジウム、MCディナーなど）でスピーチが可能。

スポンサーのランク

• スポンサーのランク

- ◆ ダイヤモンド (募集枠1社)
- ◆ ゴールド (募集枠2社)
- ◆ シルバー (募集枠3社)
- ◆ ブロンズ (募集枠5社)



ダイヤモンド会員



備考. ランクに応じて寄付額が異なります。

* 寄付額の詳細については、お問合せください。

2024 Annual Meetings of the IECEx System - Foz do Iguaçu, Brazil
2024-09-23 - 2024-09-27

Meeting Registration Meeting Documents Accommodation

General Information

The 2024 IECEx Annual Meetings of the IECEx System will be held in Foz do Iguaçu, Brazil. Foz do Iguaçu is in the extreme west of the State of Paraná. In the southwest of the city the Iguaçu and Paraná rivers join forming the triple border between Brazil, Argentina, and Paraguay. The Iguaçu Falls, located on the border of Argentina and Brazil consist of approximately 257 individual waterfalls over 2.7 km and were chosen as one of the "New Natural Seven Wonders of the World."

For information regarding registration refer to the Meeting Registration tab above

Meetings of the IECEx System

Meeting Schedule: 23rd September to 27th September 2024

Date	Event/Meeting
Monday, 23rd September, 2:00pm to 5:00pm	Assessor Training
Tuesday 24th September, 9:00am to 5:00pm	EXTAG Meeting
Wednesday 25th September, 9:00am to 12:30pm	Technical Seminar - Programme TBA
Thursday 26th September, 9:00am to 5:00pm	ExMC Meeting
Friday 27th September, 9:00am to 5:00pm	ExMC Meeting

There will be an ExMC Dinner on 26th September at 6:30pm hosted by COBEI

Venue

Grand Carimã Resort & Convention Center
Avenidas das Cataratas, 4790 - Foz do Iguaçu - Paraná - Brazil
Zip Code: 85855-678
Phone: +55 45 3521 3060
Website: <https://grandcarima.com.br/>

Sponsored by

- Sermatex
- NCC Group
- Blinda
- Inspeção e Análise em Sistemas

スポンサーのリワード

- リワード

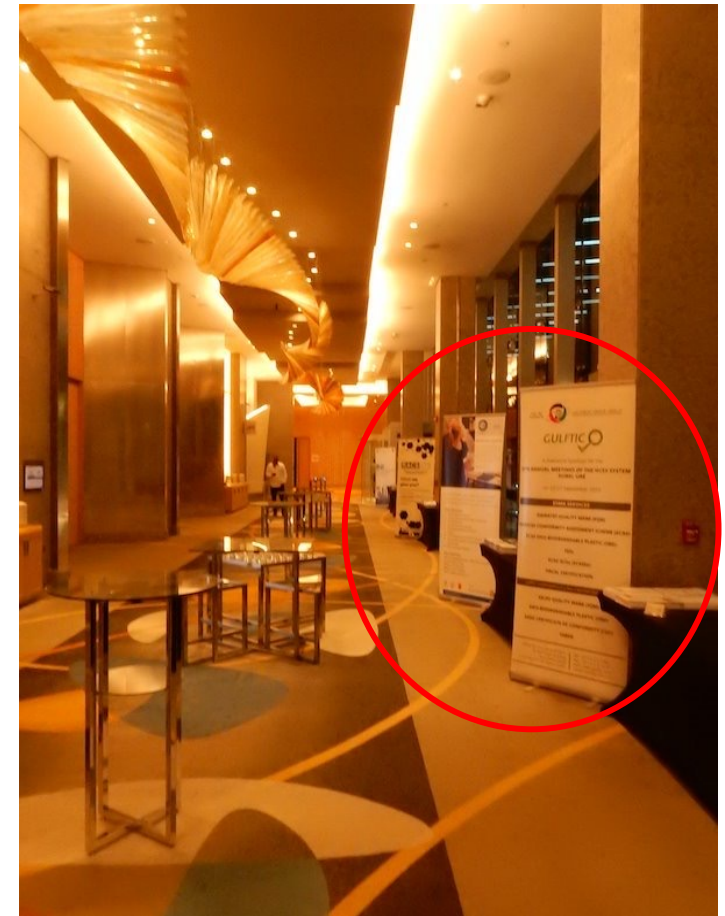
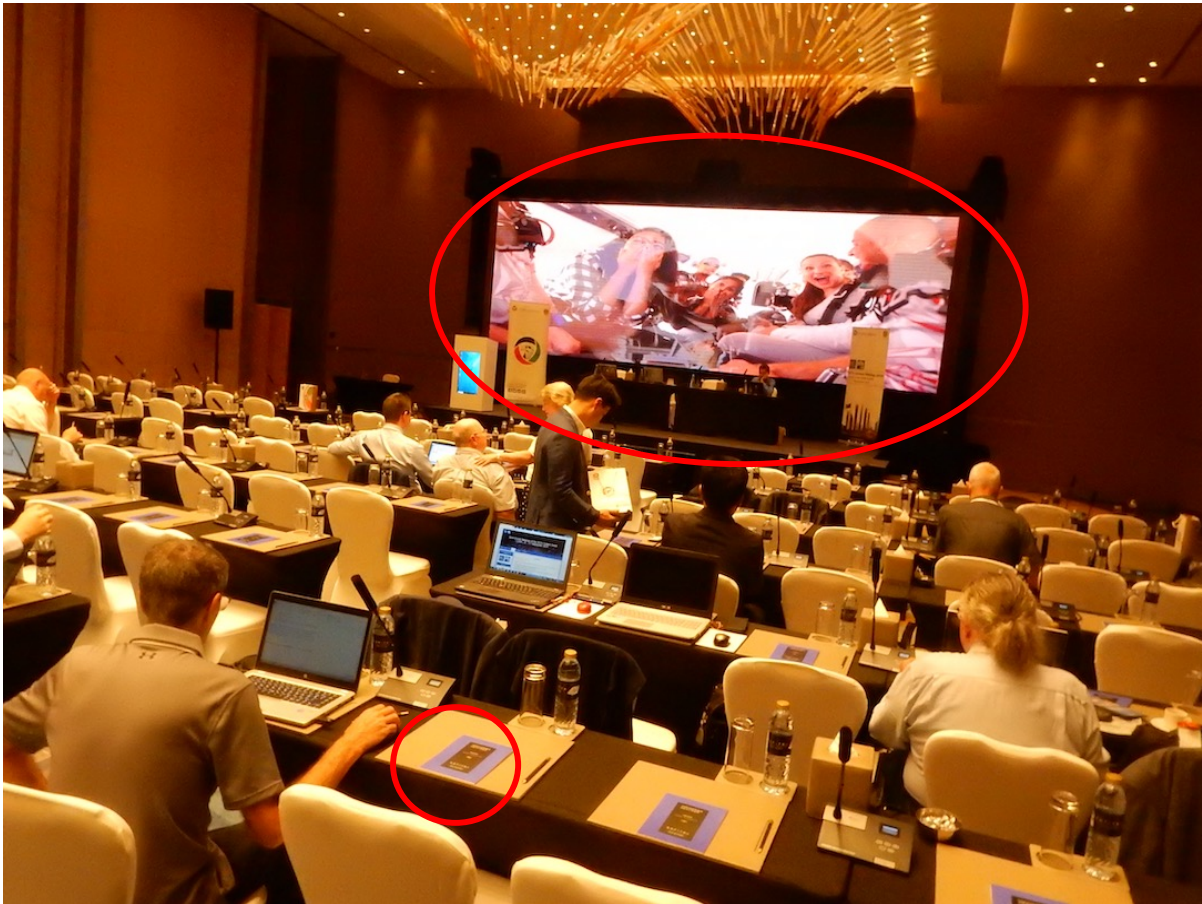
企業チラシ配布、ノベルティにロゴ、IECExホームページにロゴ掲載、ポスター掲示、動画投影、シンポジウム展示ブース、会議のオブザーバー参加など

備考. ランクに応じてリワードが異なります。

*リワードの詳細については、お問合せください。



スポンサーのリワード



2025IECEx日本年会 お問い合わせ先 公益社団法人産業安全技術協会 事業企画本部

鄭 聖美 (ちよん そんみ)
小金 実成 (こがね みなり)

[メール：2025iecex@tiis.or.jp](mailto:2025iecex@tiis.or.jp)



スポンサーに関するお問い合わせも、こちらへ。



ご来場・ご視聴
誠にありがとうございました。